

SSKP

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます

泉会

いずみ

No.
195

2019年12月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年十一月五日発行（SSKP通巻第七二八九号）

●本年度の聖句

主に望みをおき尋ね求める魂に主は幸いをお与えになる。
主の救いを黙して待てば、幸いを得る。若いときに軛（くみ）を負った人は、幸いを得る。

〔哀歌〕 3章25―27節



コイノニアかみきた「いっちょうめパン」へ行ってきました。（泉の家）

ノーベル化学賞受賞に思うこと

理事長 佐分利 正彦



本年度のノーベル化学賞を吉野彰さんが他のお二人とともに受賞されました。対象となった研究は「リチウムイオン電池の実用化」ということです。リチウムイオン電池は、スマホやパソコンの電源として、今日のIT技術を支えています。吉野さんは受賞後のインタビューの中で、さらに技術改良を進めて、大容量の蓄電池としての利用を可能にしたいと話していました。

現在の世界的な重要課題の一つが地球温暖化であることは、広く認められているところです。太陽光や風力発電の普及が有効な対策とされていますが、これら再生可能エネルギーは供給が不安定であるため、基幹となるエネルギー源とはなりにくいとされてきました。もし、昼間に大量に発電される太陽光のエネルギーを蓄えておいて、必要とされる夜間に使うことができれば、化石エネルギーの利用を低減できると考えられます。すぐれた大容量蓄電池の開発が待たれる理由です。

一方で、トランプ政権のアメリカは、国連でほとんどの参加国が署名した温室効果ガス削減の取り組みから離脱することを決めました。スウェーデンの十六歳の少女が国連の会議で強く訴えたにもかかわらず、自己の選挙対策を優先させるアメリカ大統領の姿勢は、後世から最低の評価を受けることになると思います。

先日台風十九号によって、泉会も玉堤分場が浸水被害を受けました。この台風は長時間にわたり本州各地に大雨をもたらし、堤防の決壊などで多数の方々が被害を受け、復旧までには多くの困難があると伝えられています。台風の超大型化の要因は、地球温暖化にともなう海水温の上昇であると言われます。身近なところから温暖化対策を進めたいと思うのです。



いつも、機関紙いずみを読んでくれてありがとう。今、僕は、「グループホームこいのにあ」で楽しく生活しています。時々、新聞にも登場します。引き続き応援、宜しくお願いします。
グループホームこいのにあ
河村 徹



カラオケで歌うのが楽物を食べる
いす。

BUMP OF CHICKENを
しい。調理実習で作った甘い
のが好きです。笑顔でいっば
泉の家
渡邊 美結



いつも多くの心づかいありがとうございます。
おかげで元気に暮らしています。これからも
頑張ります。

就労日の出舎
中尾 信治



接客でお客さんと関わったり、カフェの洗い物が好きです。
コイノニアに入って初めてやったパン作りも楽しいです。皆
さんの応援がとても励みになります。ありがとうございます。
コイノニアかみきた
漣 亮太



いつも我々の作業や販売会において、いろ
ろと助けていただき、本当にありがとうございます。
尚、今後とも泉の家をよろしくお願い
致します。

泉の家
山田 孝



日頃の皆さんの支援もあり、毎日楽
しく暮らせています。日常に楽し
みを見つけ出しまだまだ頑張ります。
ありがとうございます。

日の出舎
小谷野 久雄



がんばっている活動は、シュレッ
ダー掛けとミサンガ作りです。いっ
つも応援してくださってありがとう
ございます。

コイノニアかみきた
村上 峻平

友の会やボランティアさんなど
泉会で楽しい日々
利用者からみなさまへの
多くの方の支えによって
を送っています。
感謝の声を集めました。



友の会を始め
とボランティアさん、その
支えのおかげで、

する泉会を支えて下さっているボラン
他にも目には見えない沢山の人の
生活できていることに感謝しています。

就労日の出舎
金子 二三男



元気で頑張っ
てございます。皆

います。いつもありがとう
さんもお幸せに！

日の出舎
小林 久理



多くの人の善
大切に生きて
りたいと思い

意に支えられているからこそ、一日一日、
います。だからこそ多くの人の幸せを祈
ります。

日の出舎
大越 康雄



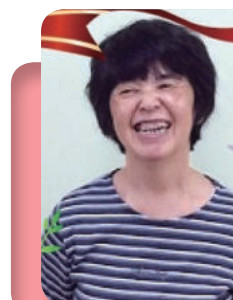
友の会の皆様へ 社会生活を行う上で多
くの人と出会い、楽しんで来ました。しか
し別れは宿命であり新たな旅路でありま
す。人生は真剣勝負です。支え合い、いた
わりあわなければなりません。皆様の支
援に感謝です。

日の出舎
牛山 耕一



玉堤分場に通い始め、15年目です。クッ
キーを子供達が買ってきて、嬉しいで
す。毎日分場に来て嬉しいことも辛いこ
ともあるけど楽しい日々を過ごしてい
ます。いつも応援ありがとうございます。

玉堤分場
久保田 裕



分場に来て3年目です。初めて皆といったディズ
ニーランドが楽しかったです。毎日分場に来て生
活にハリが出来ました。ありがとうございます。

玉堤分場
迫谷 敦子



施設の絵画活動はとても楽しく、作業をすること
で、人生にやりがい、やる気を感じます。励ましの
言葉、絵への良い評価をしてもらえると、絵画作業
ができてうれしく思います。職員、ボランティアの
方にこれからも協力して頂きながら、施設で充実
した活動をしていきたいと思ひます。このような
場があること、応援してくださる方がいることに心より感謝します。

岡本福祉作業ホーム
横山 貢



泉の家では、カラオケとレク運動、音楽活動、
カフェに行くのも楽しいです。ボランティア
さん来てくれてありがとうございます。給食
も美味しいです。

泉の家
臼井 康朗

『3年間を振り返り今思う事』

入職してから3年の月日が流れました。社会人として初めての職場で、利用者や職員の皆さんに助けられながら、ここまで来ることができました。普通なら、この職業についたきっかけや仕事で心に残ったエピソード等を書くのでしようが、ありきたりになってしまふので今回は歌詞になぞらえて、私の心の内を書かせていただこうと思います。

私は仕事でいきづまった時や落ち込んだ時、「アンパンマンのマーチ」を聴くようにしています。皆さんも「存じ」そうだと、うれしいんだ。生きる喜び……で始まるあの歌です。子どもの頃は何気なく聴いていました。でも今聴くと歌詞の深さを考えさせられることが沢山あります。「なにが君の幸せ、なにをして喜ぶかわからないまま終わる、そんなのはいやだ！……支援のいきつく先、本来の目的は、利用者の幸せ」です。日々の忙しさに忙殺され本来の目的が薄らいでいないかと考えます。そして「時は

早く過ぎる 光る星は消える……」

入職してから何度か利用者の死と向き合ってきました。その度に気づかされるのです。亡くなられた方に私達ができることはもう何も無いのだと。だから、いま目の前にある生を大事にしていきたい。明日やろうでは遅いかもしいない。すべての人が明日生きているという保証など何処にも無く、相手にとってプラスになると思ったらすぐに行動する職員でありたいです。今後も様々な経験を積み、利用者が一日の終わりに、「また明日も楽しみだなあ」と思えるような、そんな日々を作っていけるように頑張ります。

日の出舎 杉崎 美弥子



初心を忘れず頑張ります

『学びの多き3年間』

岡本福祉作業ホームに入職して3年目になりました。最初は、知らないことだらけで、私に務まる仕事だろうか？と不安もありました。それでも、優しい利用者に見守られ、先輩方に温かい指導をしていただくうちに、「自分にできることは何か」を考えるようになりました。利用者との会話で、どんなことを伝えたかったのかと悩むこともありましたが、今では悩みながらも利用者の方々との交流を楽しみ、自分らしく仕事ができるようになりました。

私が仕事の中で心掛けていることは、利用者に対して誠実であること、正面から向き合うことです。利用者の声に耳を傾け、最後まで話を聞くことで、利用者も私の声に耳を傾けてくださるようになったと実感しています。困ったことを相談してくださったとき、一生懸命に私の話を聞いてくださるので、その思いに応えていきたいと強く思いました。また、これまで支援を行ってきた

中で、利用者の様々な一面を見ることができました。中でも、これまで未経験だったことでやってみたくことや、できなかったとき、利用者が喜んでくださることが、この上ないやりがいになっていきます。利用者が毎日通所することが楽しみになるような施設を目指し、これからも利用者へ寄り添った支援を続けていきたいと考えています。

岡本福祉作業ホーム 須永 実由香



誠実に向き合いながら支援をしています

日の出エリア施設だより

日の出舎日帰り旅行



空と同じ晴れやかな笑顔です

2019年9月20日に、利用者7名、職員8名で天候に恵まれた中、東京ディズニーランドへ行ってきました。行きは渋滞につかまり、現地に到着したのは昼時でした。ミッキーの形をしたハンバーガーを食べ終え、すぐに夢の国の散策を始めました。ディズニーランドでは、車椅子の方を対象に、優先的に乗り物に案内して頂けたため、スムーズに乗り物を楽しむことができました。普段なかなか実物を見る事のできない、ディズニーのショーや、アトラクションの迫力に、利用者も職員もとても楽しい時間を過ごすことができました。

(小林 郁也)

日の出舎だより

グループホームのぞみだより

GHのぞみ利用者会議

GHのぞみでは毎月、利用者会議を開いています。ここでは、利用者が困っている事や改善していかねばならない事などを話し合っており、決めています。

先々月からは、利用者が司会進行してくれています。時間も限られている中で、一人ひとりの意見を聞き、まとめて行く事は大変なことだと思えます。快諾していただき、一生懸命に取り組んでくださっている海老原さんに感謝しています。利用者会議を利用者の手で！これは、利用者会議を始めた時からの目標でもあり、大きな前進です。

「立場を変えて、自分を振り返ってみよう。」という議題を設け、自分を見直し、反省点は来月の目標としていけるように話し合っています。それにプラスして、今回（9月の会議）から「相手の良い所を発表していこう！」ということになり、それぞれの良い所を言い合っていました。



より良い明日のために前向きに

皆さん照れくさそうに聞いておられました。最後に感想をお聞きすると、「恥ずかしいけど、何だか嬉しいね。」と話されていました。他の人のマイナスイメージだけを見るのではなく、良い所も見えて行くことにより、お互いを認め合い、協調して生活していくことにつながっていくと思っています。

GHのぞみでは、今後も一人ひとりが自分らしく生活していけるよう継続して支援していきたいと思っています。

(市川 美和)

就労日の出舎での作業

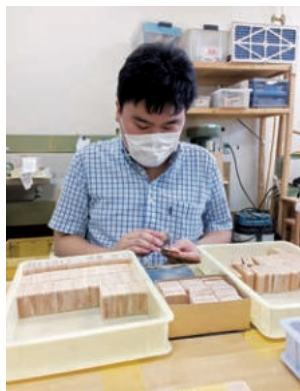
就労日の出舎だより

青峰学園を卒業して就労日の出舎に入って5年が経ちました。学生の時に実習を何度か行い、沢山の作業があり、やりがいのある作業だったため進路先として就労日の出舎を選びました。

入った当初はベアリング組立てやセメント袋の折り作業等の下請け作業が中心でしたが、途中から木工作業に切り替わり、今では小物の磨き、組立、封入等多くの作業に関わっています。

これからも木工作業を中心に頑張っていきたいと思っています。

(井口 友裕)



10,000 個の磨き頑張っています！

岡本福祉作業ホーム だより

秋の施設公開行事

今年度のまるごとおかもとでは、新しい試みを行いました。1つ目は青森ヒバ巾着セットをご愛用いただいているお客様より、詰め替え用のヒバを購入したいとのこと要望を受け、詰め替え用ヒバの販売を開始しました。青森県の就労継続支援B型事業所より仕入れた新鮮なヒバのかんなくずを利用者が計量し、サシエ用の巾着を利用者、職員、ボランティアさんが協力して作製しています。巾着の絵柄やバックラベルのイラストは利用者の方の手描きです。消臭・脱臭・



左から、青森ヒバ巾着セット 500円、詰め替え用 800円

抗菌・防虫効果があり、爽やかな香りで癒されるのでお勧めです。



ハンドアーチェリーは、どなたでも楽しめるゲームです。

2つ目は、肢体不自由友の会からハンドアーチェリーをお借り致しました。福祉体験で何か楽しいものをとアイデアを募ったところ、このハンドアーチェリーが候補に上がりました。思った以上によく飛ぶのできつとお客様も楽しまれるだろうと胸躍りました。当日は、たくさんのお客様が興味を持たれ果敢に挑戦してくれました。中々うまく飛ばせない方もいらつしました。中には高得点の方もいらつしやうゲーム性がとても高い事が魅力だと思いました。来年も借りることができれば是非継続したいと思います。

（関口 友則・石黒 玲奈）

玉堤分場だより

どいつもこいつも楽しく！！

10月12日、台風19号の大雨で、多摩川と支流の丸子川の氾濫により、地下1階にある玉堤分場が30センチから60センチ程、浸水しました。電話、パソコンが1週間以上全く使えず、エレベーターに満杯にたまっていた水は10月28日にようやく抜かれましたが、使用できるまでにはまだ月日を要するようです。クッキー室はガラスが割れて物が散乱し、今後の分場の再



復興に向けて消毒作業中

開の見通しがまだ立っていない状況が続いています。一時は途方に暮れそうでしたが、泉会の職員やボランティアさんなどに毎日助けて頂き、一步一步復旧作業が進んでいます。心から感謝しております。混沌とした復旧作業現場も徐々に秩序が生まれ、頑張りすぎずに励ましあい、良き交わり、笑顔も生まれています。

利用者の方は、岡本福祉作業ホーム本園や、泉の家のスペースを借りて作業体験や活動に参加して過ごされています。皆様が温かく迎えて下さり、環境が変わっても仲間を気遣い楽しく過ごせていることに感謝です。職員は分場と岡本本園に分かれ連携を取ったり、不安で通所されていない利用者のご自宅の訪問もしています。

完全な復旧には、まだまだ時間を要しますが、この災いが私達の将来と希望につながっていることを信じ、それぞれの場所で元気に働き、過ごしていきたいと願います。すべて感謝しつつ・・・

（半澤 恵理）

泉の家だより

家族サロンで炊き出し

泉の家では毎月1回「家族サロン」と称する利用者のご家族が交流する場を設けています。当初は茶話会スタイルでしたが、最近では就労Bの作業体験や行事の装飾づくり等、様々な企画を行っています。今回は賞味期限間近になった防災備蓄品の非常食アルファ米の炊き出しと試食を行いました。約30センチ四方の箱には50食分のアルファ米の他、箸や手袋、しゃ



たくさんのおにぎりができました

もじ等が入っています。8Lのお湯を注ぐと15分で炊き上がります。待っている間、施設の災害時対応に話題がおよぶと「家族へ情報を一斉送信できないか」等、検討すべき貴重な意見を頂きました。試食をすると「知らずに食べたなら非常食と思わないかも」「芯も残っていないくて美味しい」「被災時に暖かいご飯はありがたいことだろう」との感想が聞かれました。残ったご飯は添付のゆかりをまぶしておにぎりにしました。



箱がそのままお釜になります

有事の際の対応は経験の有無により違いが出てきますが、今回の炊き出し経験を活かす時が来ない事を祈るばかりです。

（島田 隆介）

コイノニアかみきた だより

『1年経って...』

コイノニアかみきたが開所して1年。各事業それぞれが笑顔であふれ、温かい施設へと大きく変化しました。開所当時閑散としていた生活介護の活動場所は賑やかな声で満たされ、就労継続支援B型の作業場では集中して活動に取り組む利用者の姿が印象的です。



元気に音楽活動！（生活介護）

3階のグループホームでは、お茶会や誕生日会が開かれ、利用者と士で話したりお祝いしたりと、心地よい空間となっています。6月には日帰り旅行、10月には



誕生日の方を皆でお祝い！（グループホーム）



今日の売上発表です！（就労継続支援B型）

施設公開行事を行い、利用者の皆さんやご家族にご助力いただきながら無事に成功させることができました。

利用者の笑顔を更に多く見られるよう、また、皆様に愛される施設になれるよう努力を続けていきたいと思えます。これからもよろしく願います！（木村 賢幸）

第11回 成城音楽祭

日 時：2020年3月12日 木曜日

14時00分～16時00分（開場13時30分）

場 所：成城ホール（東京都世田谷区成城6-2-1） 電話 03-3482-1313

入場料：900円（チケット制）／全席自由（225名）

演奏者：一部、「男声合唱団アンサンブル・ステラ」による合唱曲

二部、泉会事業所からの発表（泉の家・岡本福祉作業ホーム・岡本福祉作業ホーム玉堤分場・コイノニアかみきた）

共 催：東京成城ロータリークラブ／泉会後援会いずみ友の会／社会福祉法人泉会

後 援：世田谷区

※今回は、第9回成城音楽祭（2018年実施）と同様に、障害のある方々が直接、「男声合唱団アンサンブル・ステラ」様の合唱曲を聴いて楽しめるよう、ステージ部分を広くして実施します。二部では、コイノニアかみきたを加えた泉会事業所4施設から歌などの発表を行い、音楽に触れ、楽しい音楽会とします。



男声合唱団アンサンブル・ステラ

西東京市に練習基盤を置く数少ない男声合唱団の一つ。

今年、創立16年目を迎える。

2014年4月に原発事故で避難中の福島県双葉町の住人への慰問演奏、同年7月には創立10周年記念コンサートを行った。このたび、いずみ友の会会長・内田文二様のご紹介により出演の運びとなりました。

2019年度12月～3月予定表

行 事	販 売 会
12月10日（火）年納会（岡本）	12月7日（土）せたがや福祉区民学会（コイノニア）
12月14日（土）クリスマス会（日の出舎）	12月8日（日）区民ふれあいフェスタ（泉の家・岡本）
12月29日（日）～1月4日（土）冬季休暇	1月12日（日）新年子どもまつり（コイノニアかみきた）
1月 新年会（コイノニアかみきた）	2月 下旬～3月上旬 セタがや梅まつり（泉の家・岡本）
1月31日（金）お菓子づくりイベント（日の出舎）	3月14日（土）砧ご近所フォーラム（泉の家）
2月4日（火）～9日（日）作品展（岡本）	
2月28日（金）～3月1日（日）日の出舎作品展（仮）～イオンモール日の出（日の出舎・就労日の出舎）	
2月29日（土）地域とともに（玉堤分場）	
3月6日（金）玉川支援ねっと交流会（玉堤分場）	
3月12日（木）成城音楽祭	
3月27日（金）お花見（泉の家）	



* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
 泉の家 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
 izumi@izumikai.jp
 岡本福祉作業ホーム 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
 okamoto@izumikai.jp
 相談支援センター（岡本福祉作業ホーム内） soudan-okamoto@izumikai.jp
 おかもと
 玉堤分場 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
 tamatutumi@izumikai.jp

コイノニア 〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号
 かみきた ☎03(5316)2251 ☎03(5316)2252
 グループホーム koinonia@izumikai.jp
 こいのにあ
 日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
 就労日の出舎 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
 相談日の出舎 info@hinodesha.org
 グループホーム 〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1
 のぞみ ☎042(533)3608 ☎042(533)3609

編集後記

2019年は色々なことがありました。多くの方々のご支援により利用者と明るく過ごせたことを195号の編集作業を通して深く知ることができました。岡本福祉作業ホーム 真野